

## 「豪雨災害に関する意識」についてのアンケート集計結果

調査時期：平成22年2月

対象者：県政モニター 195人

回答数：143人（回収率73.3%）

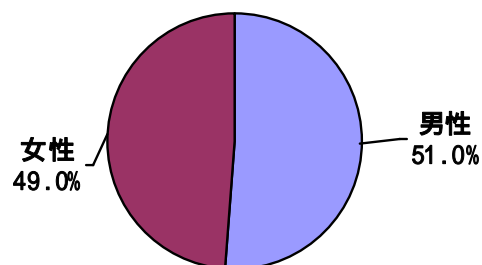
担当課：土木交通部 流域治水政策室

調査目的： 県では、洪水に対して人命を守ることを第一に、いかなる洪水に対しても壊滅的な被害を防ぎ、そして被害をできるだけ少なくするため、これまでの川の中の対策だけでなく、川の外での対策を県民のみなさんと協働して実施していく「流域治水対策」を検討しているところです。

県民のみなさんの豪雨災害に関する意識等について把握し、今後の施策検討の参考とするためアンケート調査を実施しました。

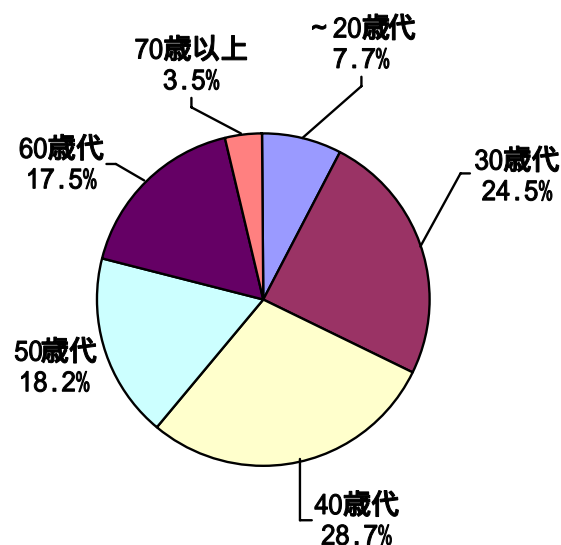
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	73	51.0
女性	70	49.0
合計	143	100



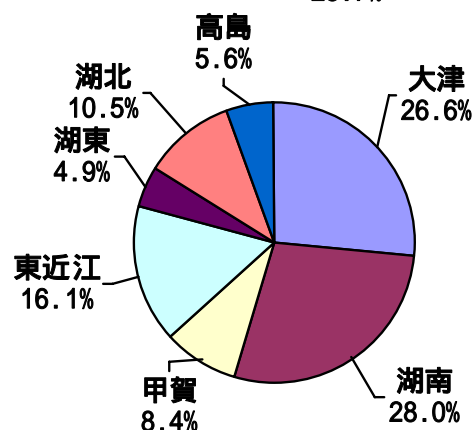
問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
～20歳代	11	7.7
30歳代	35	24.5
40歳代	41	28.7
50歳代	26	18.2
60歳代	25	17.5
70歳以上	5	3.5
合計	143	100



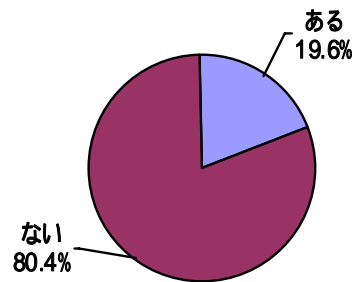
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	38	26.6
湖南地域	40	28.0
甲賀地域	12	8.4
東近江地域	23	16.1
湖東地域	7	4.9
湖北地域	15	10.5
高島地域	8	5.6



問4 あなたは過去に豪雨(台風を含む)によって被害を受けたり、危険を感じたりしたことはありますか。

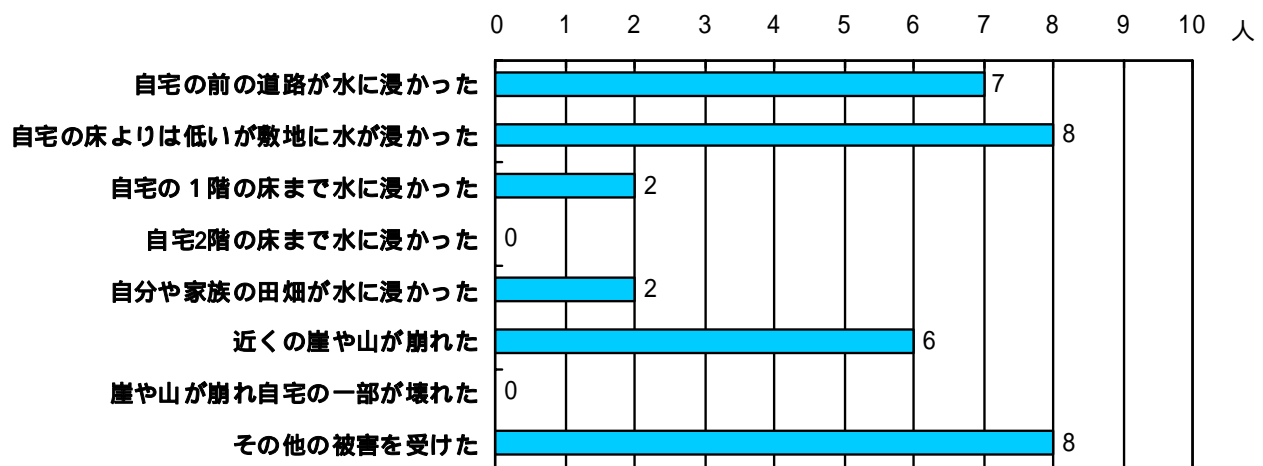
項目	人数(人)	割合(%)
ある	28	19.6
ない	115	80.4
合計	143	100



問5 問4で「ある」と回答された方にお聞きします。

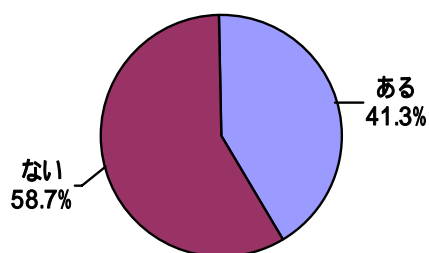
その時の状況はどのようなものでしたか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅の前の道路が水に浸かった	7	21.2
2. 自宅の床よりは低い敷地に水が浸かった	8	24.2
3. 自宅の1階の床まで水に浸かった	2	6.1
4. 自宅の2階の床まで水に浸かった	0	0.0
5. 自分や家族の田畑が水に浸かった	2	6.1
6. 近くの崖や山が崩れた	6	18.2
7. 崖や山が崩れ自宅の一部が壊れた	0	0
8. その他の被害を受けた	8	24.2



問6 あなたは今住んでおられる地域で起きた過去の自然災害（被害）の話を、人から聞かれたことはありますか。

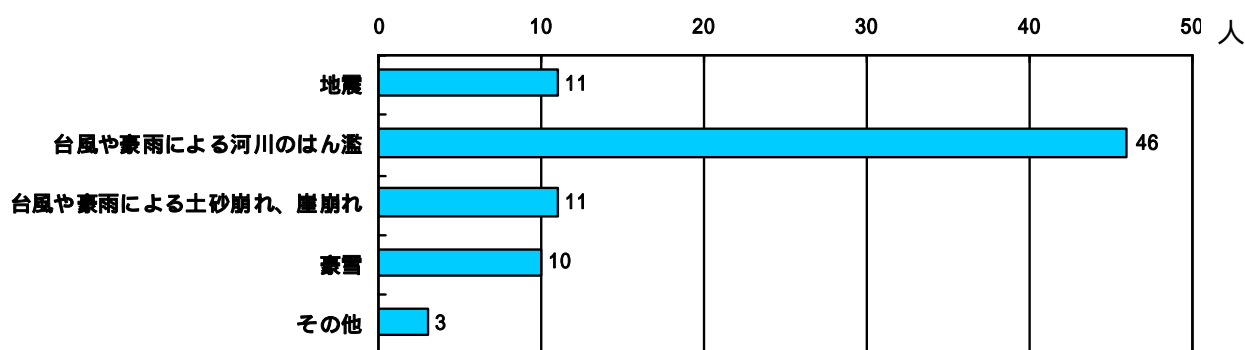
項目	人数(人)	割合(%)
ある	59	41.3
ない	84	58.7
合計	143	100



問7 問6で「ある」と回答された方にお聞きします。

それはどのような自然災害でしたか。(はいくつでも)

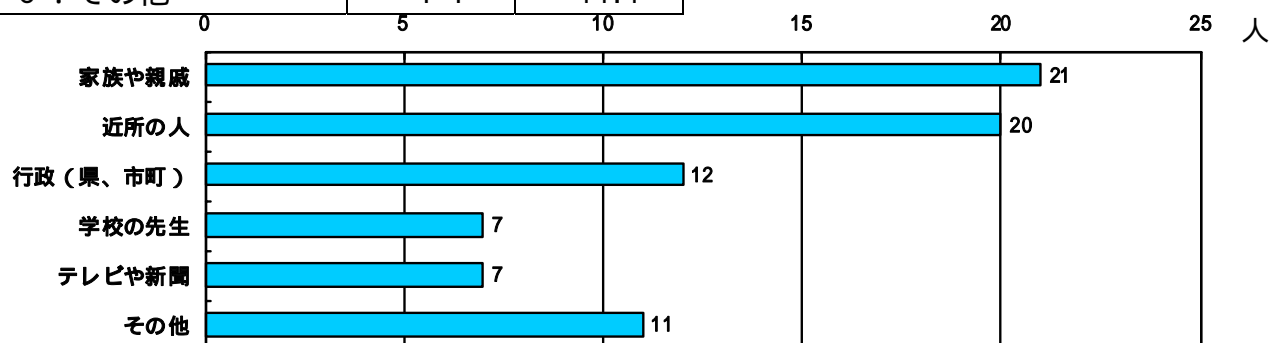
項目	人数(人)	割合(%)
1.地震	11	13.6
2.台風や豪雨による河川のはん濫	46	56.8
3.台風や豪雨による土砂崩れ、崖崩れ	11	13.6
4.豪雪	10	12.4
5.その他	3	3.7



問8 問6で「ある」と回答された方にお聞きします。

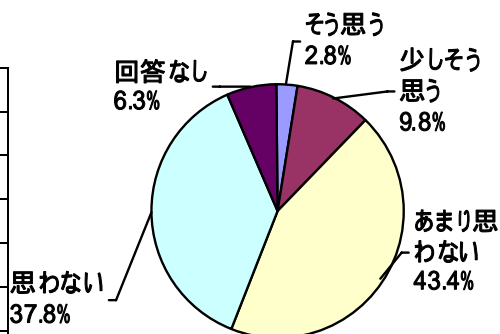
それは誰から聞かれた話ですか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1.家族や親戚	21	26.9
2.近所の人	20	25.6
3.行政(県、市町)	12	15.4
4.学校の先生	7	9.0
5.テレビや新聞	7	9.0
6.その他	11	14.1



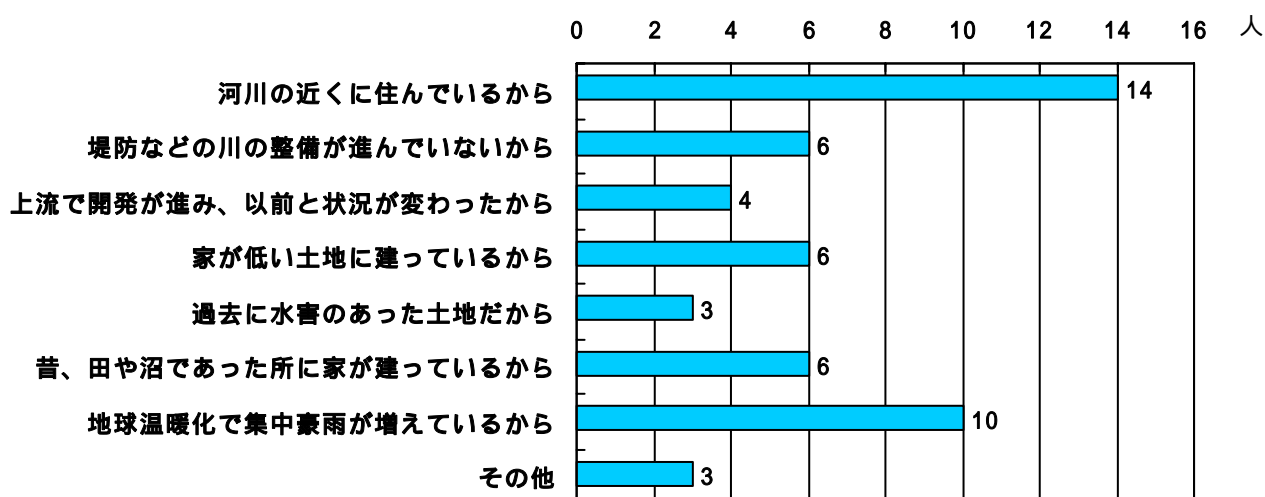
問9 あなたは、今お住まいの家が今後10年以内に洪水による被害を受けると考えられますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. そう思う	4	2.8
2. 少しそう思う	14	9.8
3. あまり思わない	62	43.4
4. 思わない	54	37.8
回答なし	9	6.3
合計	143	100



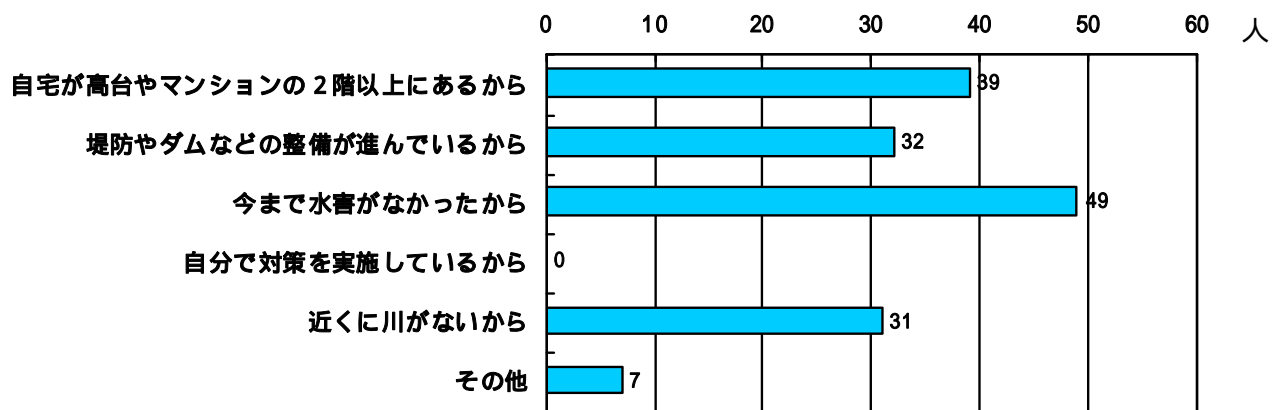
問10 問9で「そう思う」または「少しそう思う」と回答された方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 河川の近くに住んでいるから	14	30.4
2. 堤防などの川の整備が進んでいないから	6	13.0
3. 上流で開発が進み、以前と状況が変わったから	4	8.7
4. 家が低い土地に建っているから	6	13.0
5. 過去に水害のあった土地だから	3	7.0
6. 昔、田や沼であった所に家が建っているから	6	13.0
7. 地球温暖化で集中豪雨が増えているから	10	21.7
8. その他	3	7.0



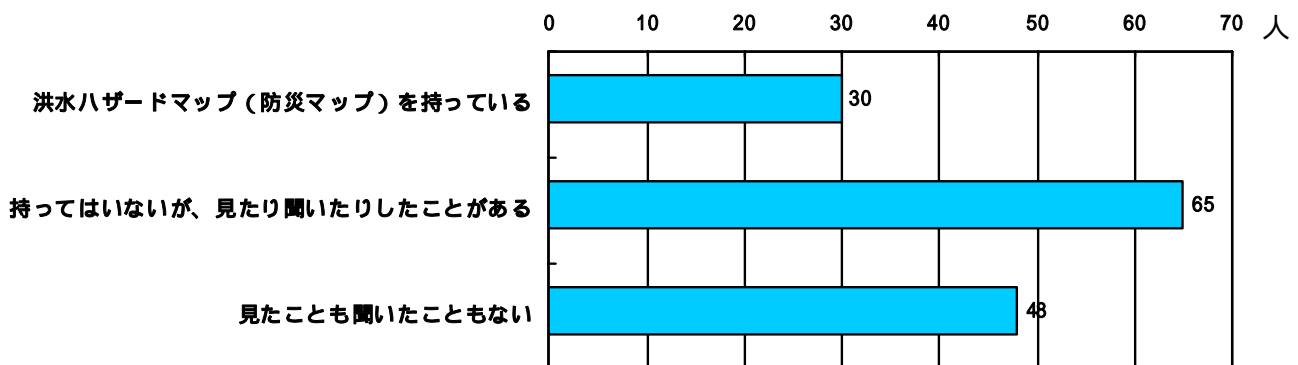
問11 問9で「あまり思わない」または「思わない」と回答された方にお聞きします。それはどのような理由からですか。（はいくつでも）

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅が高台やマンションの2階以上にあるから	39	24.7
2. 堤防やダムなどの整備が進んでいるから	32	20.3
3. 今まで水害がなかったから	49	31.0
4. 自分で対策を実施しているから	0	0
5. 近くに川がないから	31	19.6
6. その他	7	4.4



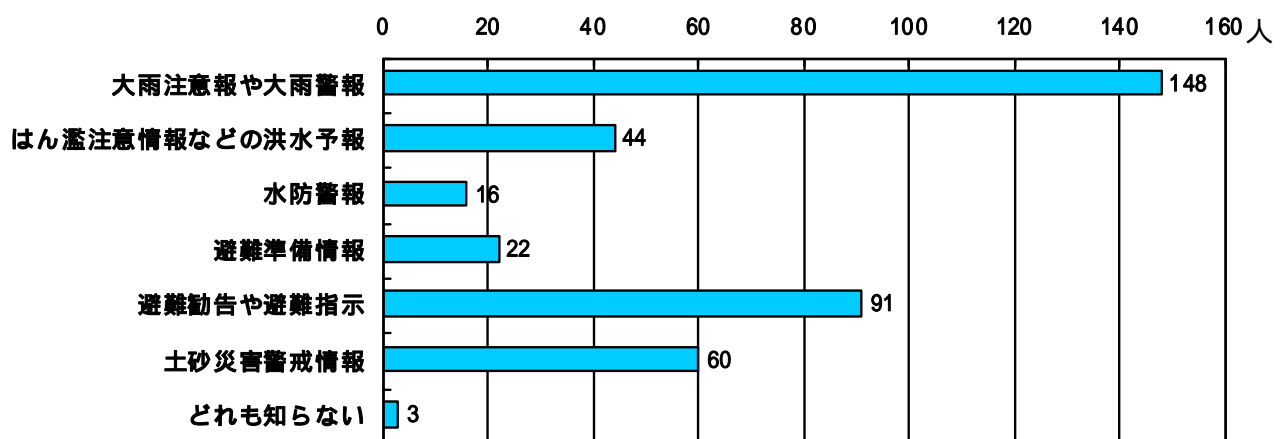
問12 浸水が予想される区域を示すものとして、「浸水想定区域図」や「洪水ハザードマップ(防災マップ)」がありますが、あなたはこのような地図を見たり、聞いたりしたことがありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 洪水ハザードマップ(防災マップ)を持っている	30	21.0
2. 持ってはいないが、見たり聞いたりしたことがある	65	45.5
3. 見たことも聞いたこともない	48	33.6
合計	143	100



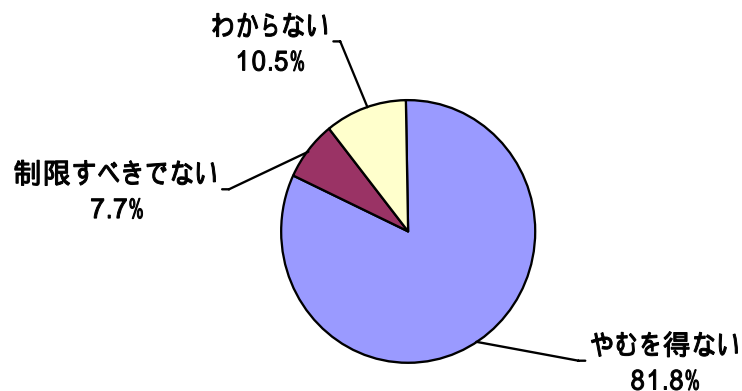
問13 水害や土砂災害の発生する危険性が高くなった時に出る情報のうち、あなたが知っているものすべてに をしてください。

項目	人数(人)	割合(%)
1.大雨注意報や大雨警報	148	38.5
2.はん濫注意情報(洪水注意報)などの洪水予報	44	11.5
3.水防警報	16	4.2
4.避難準備情報	22	5.7
5.避難勧告や避難指示	91	23.7
6.土砂災害警戒情報	60	15.6
7.どれも知らない	3	0.8



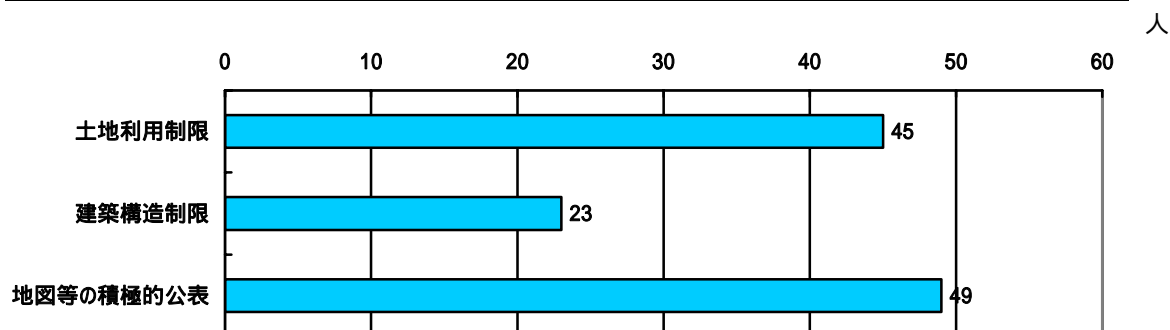
問14 水害による被害をできるだけ少なくする方法として、上流の農地や森林の開発を制限したり、下流の低地に建物を建設しないよう制限することが考えられますが、あなたはこのような土地の利用制限についてどう思われますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1.被害を少なくするための制限なら、やむを得ない	117	81.8
2.制限はすべきでない	11	7.7
3.わからない	15	10.5
合計	143	100



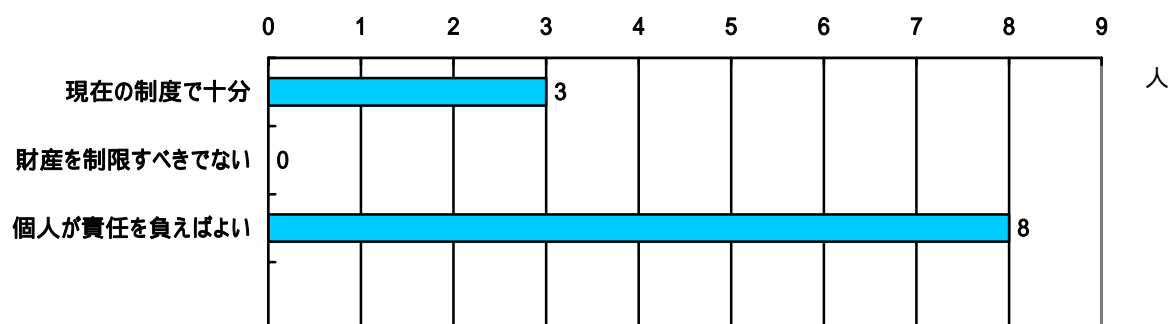
問15 問14で「被害を少なくするための制限なら、やむを得ない」と回答された方にお聞きします。土地利用制限を強めるためにはどうしたらよいと思いますか。この中からあなたの考えに近いものを選んでください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 水害の危険性に応じて土地利用を制限し、浸水の危険性が高い場所には住まないような制度を作る	45	38.5
2. 土地利用の制限はしないが、水害の危険性に応じて建築の構造を制限し、万一浸水したとしても被害が少なくなるような制度を作る。	23	19.7
3. 水害の危険性が高い場所を示す地図などを積極的に公表することにより、危険性が高い場所に住まないよう土地利用を誘導する	49	41.9
合計	117	100



問16 問14で「制限はすべきではない」と回答された方にお聞きします。そのように思われる理由は何ですか。この中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

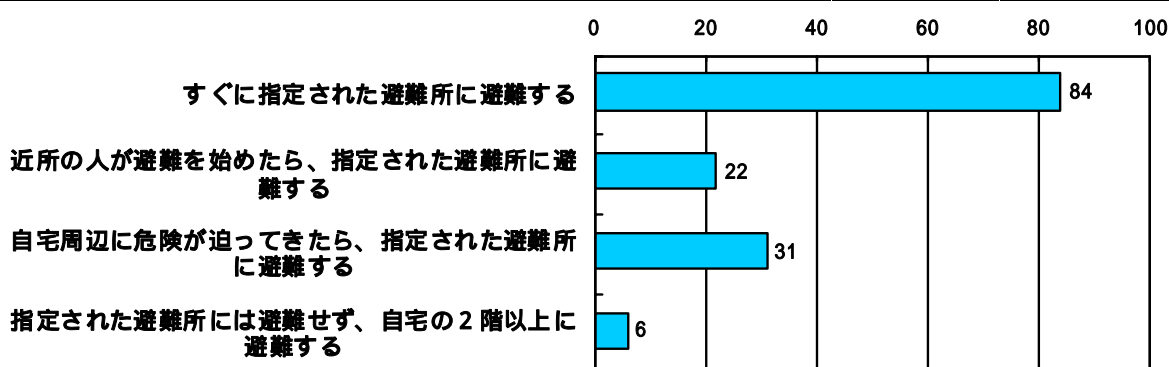
項目	人数(人)	割合(%)
1. 現在の制度で十分だから	3	27.3
2. 個人の財産を制限すべきでないから	0	0.0
3. 被災した場合でも個人が責任を負えばよいから	8	72.7
合計	11	100



問17 水害や土砂災害の危険性が高くなり、市町から避難勧告が出された場合、あなたはどのような行動をとると思われますか。この中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. すぐに指定された避難所に避難する	84	58.7
2. 近所の人が始めたなら、指定された避難所に避難する	22	15.4
3. 自宅の周辺に危険が迫ってきたら、指定された避難所に避難する	31	21.7
4. 指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する	6	4.2
合計	143	100

人

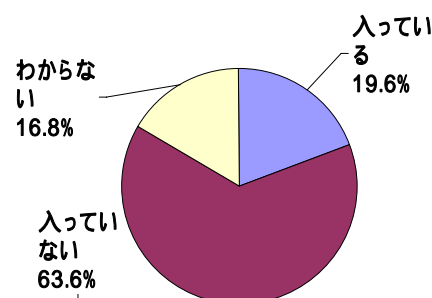


指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する理由

- ・自宅が高台にあるが避難所は自宅より低い位置にあり、避難所の方が危険かもしれないという予想がある。避難勧告が出る頃には雨量も激しくなっており、自宅から出て川のようになっている坂道を下っていくこともかなり危険だと予想するため。
- ・最近の水害報道を見ていると、避難することが必ずしも正しいわけではないと思うから。水は時間が経てば引いていくので、正確な情報を入手して判断する必要がある。
- ・避難場所に行くまでの方が危ないと思っているのと、避難場所の横には川があり溢れたりしたらと思うと怖い。
- ・自宅はマンションの2階なので。
- ・万一水害があったとしても、避難所より自宅の2階の方が高台になるから。
- ・鉄筋コンクリート集合住宅の4階に住んでいるから。

問18 あなたは水害や土砂災害に備えた保険（住宅総合保険等）に入られていますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 入っている	28	19.6
2. 入っていない	91	63.6
3. わからない	24	16.8
合計	143	100

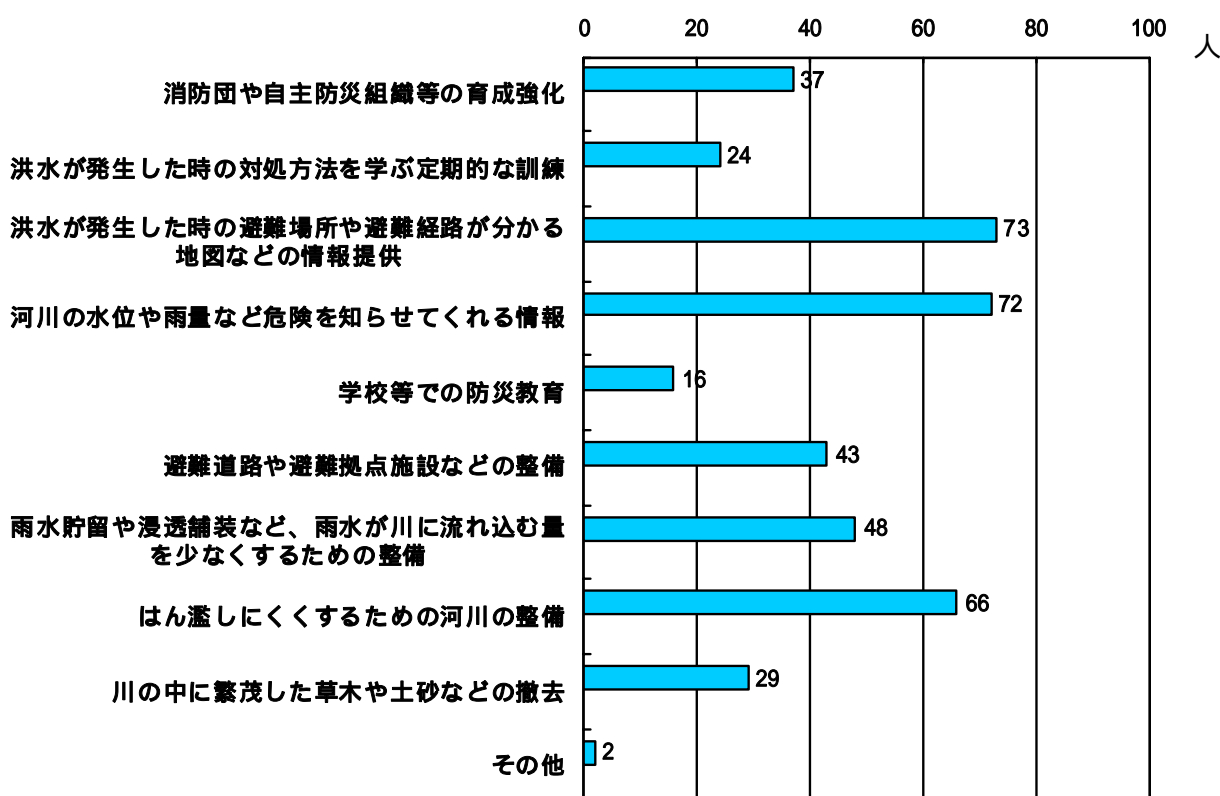




問19 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取り組みを望まれますか。

重視して進めるべきだと考えるものを3つ選んでください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 消防団や自主防災組織等の育成強化	37	9.0
2. 洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	24	5.9
3. 洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	73	17.8
4. 河川の水位や雨量など危険を知らせてくれる情報	72	17.6
5. 学校等での防災教育	16	3.9
6. 避難道路や避難拠点施設などの整備	43	10.5
7. 雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	48	11.7
8. はん濫しにくくするための河川の整備	66	16.1
9. 川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	29	7.1
10. その他	2	0.5



問20 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。あなたの自由な意見をお書きください。

(主だった意見)

【個人で留意すること】

- ・ ハザードマップ等により危険箇所がどこなのかを知る。
- ・ 正しい情報を得て迅速な行動をとる。
- ・ 川のそばの低い土地には家を建てない。
- ・ 居住地区の土地や環境について知る。
- ・ 避難場所や避難経路を知っておく。
- ・ 災害備蓄用の買い置きをしておく。
- ・ 土手に生える草木等の刈り取りをする。
- ・ 河川に異常があれば早めに行政へ連絡。
- ・ 水害はどこでも起こりうるという意識を持つこと。
- ・ 自主防災活動への参加と協力。
- ・ 家庭内でも日頃から災害時の対処について話し合っておく。
- ・ 災害があった地域の歴史を把握しておく。
- ・ 指定された避難場所でなくても、近くで利用できそうな施設をチェックしておく。

【地域で留意すること】

- ・ 情報を出来るだけ早くみんなに知らせる。
- ・ 災害時のイメージを具体的に持ちながら訓練を行う。
- ・ 隣近所の助け合いや、情報連絡体制の確立。
- ・ 災害履歴や危険箇所の地図を作成し住民に伝える。
- ・ 災害時の避難場所の周知徹底。
- ・ 災害予測地域の図面を作成し、回覧板の裏に貼って常に意識する。
- ・ 自治会組織の充実(緊急時対応)
- ・ 洪水ハザードマップを地域で作成し、避難経路や避難場所を熟知する。
- ・ 夏祭りや運動会など各種行事の際に防災意識を高める普及啓発を行う。
- ・ 災害が発生した時に迅速な対応が出来るようマニュアルを作成する。
- ・ 居住地区の過去の水害を学ぶ啓発活動を行う。
- ・ 自分たちの地域は自分たちで守るという意識を持つ。
- ・ 地区の子ども・高齢者・障害のある方を把握する。
- ・ 災害時要援護者へのサポート体制の強化。
- ・ 地域で古くから住まれている方が災害の記憶を伝えていく。
- ・ 危険な地域は、よそから来た人にもわかるように看板で告知する。